

科目名	金融機関論 A Financial Institutions A						
科目担当者	宮永 雅行 MIYANAGA Masayuki						
単位数	2	配当年次	2年	授業形態	講義	開講学期	前期
履修学部・学科 [区分]	経営学部・経営学科 [専門教育科目 専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(3)(4)
授業の概要	<p>1990年以降のバブル崩壊、デフレ経済のなか、金融機関は多額の不良債権を抱え苦しい経営を余儀なくされてきた。不良債権の多くは値下がりした不動産担保付の融資であった。本講義ではまず「金融機関編」として金融機関とは何かや、近年金融機関が取り組んできた不良債権からの脱却の歴史をしっかりと理解したうえで、後半は不動産の基本的で重要な内容を学習していく。</p> <p>この不動産に関する知識は将来の仕事として金融機関、とくに銀行や信用金庫などを志望する学生諸君には是非知っておいて欲しいところである。</p> <p>なお、「金融機関編」については、金融機関に在籍した経験を活かし、実際の金融機関の有り様を伝えることで、理解が深まるよう努めたい。</p>						
授業の到達目標	<p>①地域金融機関が抱えてきた不良債権などの問題点やそれらを乗り越えるために金融機関がとってきた行動を考察することで現在の金融機関の課題を正しく理解する。</p> <p>②不動産について学習することで、金融機関に重要な担保や物権を理解する。</p>						
授業計画・内容	1	金融機関とは何か（金融機関の種類、金融機関のルーツ）					
	2	我が国経済の現状と金融行政					
	3	リレーションシップ・バンキング					
	4	トランザクション・バンキング					
	5	不動産とは何か（定義、諸規制）					
	6	土地の分類と建物の分類					
	7	借地権と不動産の有効利用					
	8	地域要因の分析と個別要因の分析					
	9	不動産の権利（物権の種類と債権の種類）					
	10	不動産の権利（所有権、用益物権、担保物権）					
	11	不動産の権利（抵当権）					
	12	不動産登記とはなにか					
	13	不動産登記の効力（登記の対抗力、登記の公信力、仮登記）					
	14	不動産の鑑定評価（比較方式、原価方式、収益方式）					
	15	まとめ					
授業外学修 (事前学修)	毎回、Moodle に事前に掲載した次回授業内容の PDF を熟読し、自分なりにノートにまとめてみる。（毎週 2 時間程度）						
授業外学修 (事後学修)	毎回、授業内容について要点を整理し、不明な個所を調べておく。（毎週 2 時間程度）						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法					評価比率	到達目標との対応
	定期試験 2 回の課題の提出					70% 30%	①② ①②
成績評価基準	<p>秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合</p> <p>優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合</p> <p>良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合</p> <p>可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合</p> <p>不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合</p>						
教科書	資料						
参考文献							
その他	※この科目は、金融機関での勤務経験を有する教員が実務経験を踏まえて金融機関及び不動産の基本について授業を行います。						